



秦果樹生産出荷組合

部会員数：40人
 部会長：山下 雅章さん
 栽培品種：ニューピオーネ、シャインマスカット、瀬戸ジャイアンツ
 マスカット・オブ・アレキサンドリア、オーロラブラック、紫苑
 主な出荷先：岡山県内、東京、大阪
 歴史ある産地で、新規就農者を積極的に受け入れている活気ある組合です。

ブドウ栽培は地域の新しい風、 活性化の起爆剤にしたい。

就農したきっかけは

岡山県農業大学校で果樹専攻でしたが、正直いって農業を志望して入学したわけではありません。実は警察官になりたくて、4回ほど採用試験に挑みましたがごとごとく不合格。どうしようかと考えていた矢先、学生時代に大阪の青果市場で働いた経験思い出して、お客さんが笑顔になれる美味しいモノを自分の手で作りたい、生産者の道に進みたいと本気で思いはじめました。総社市秦にある母方の祖父から1反ほどアレキの圃場を貸してもらえるとということ



で、早速、ブドウ作りのためにこちらへ引越す。地域の人たちに栽培方法を学びながら、本格的な農業人としてスタートしたので。ところがその1年後、売上はわずか30万円足らず。己の技術の未熟さを痛感して、このままでは終われないことが奮起するきっかけになりました。

本格的に栽培をはじめた

当時、農業といえば3Kの代表で、若いのに畑仕事しているなんてかっこ悪いという風潮でした。しかも、栽培がうまく行かず思ったように収入にならないので、初めの4、5年は昼は畑、夜はバイトの生活。あの頃の暮らしはほんとうに悲惨でした。でも、やる以上は覚悟を決めていましたし、この時期は徹底的に地域のベテラン生産者から一から栽培方法を教わって、少しずつ生活もできるよ。それに、それからはニューピオーネとシャインを軸に圃場を拡大していきます、おかげで現在130aに達しています。

地域と農業の未来のために

この地にやって来た20年前、右も左もわからない若造に本気で技術を



仕込んでくれた地域の方々への感謝を絶対に忘れることはできません。今と違って農業そのものがネガティブな時代、友人たちへの引け目もありましたし、よそ者ですから地域にうまく溶け込めるかどうかの不安もありました。でも、朝も晩も本気になって取り組むうちに、地域の皆さんの温かい目を感じるようになっていったんです。それどころかお金にもならないのに一生懸命技術を教えてくださいださったんです。

今度は、自分が与える番だと思えます。若い人たちが立派な農業人に育てて地域にどんどん新しい風を送り込むこと、それにより過疎化を止めて地域活性化のための起爆剤にしたい。それが自分の夢ですし、果たすべき使命だと思っています。

【秦果樹生産出荷組合】

山下 雅章さん

やました まさあき / 43歳
 ブドウ生産21年 / ニューピオーネ80a・シャインマスカット50aなどのブドウ栽培ほか、露地にて野菜を数種栽培。(株)山雅ファブリカン代表取締役。